

平成22年度 伯耆町一般会計決算

伯耆町監査委員による「決算監査意見（要旨）」

23. 8. 25 監査委員→町長へ提出

- ・ 関係諸帳簿・証拠書類を照合し、厳正に監査を行った。
 - ・ ・ ・ 計数は、いずれも符合して正確であり、適正な決算と認めた。
- ・ 各財政指標は、次のとおり。

年度	項目	経常収支比率	実質公債比率（3ヶ年平均）	将来負担比率	経常収支比率
22年度		84.4%	15.8%	60.2%	84.4%
21年度		85.3%	18.1%	73.6%	85.3%

- ・ 決算額は歳入＝84億3千万円（対前年度比 約12%の増）
 歳出＝78億7千万円（対前年度比 約13%の増）
 （予算の執行率＝91.3%）

※実質単年度収支は、
2億2千9百万円の黒字

- ・ 決算の特徴
 - ①雇用対策・地域資源活用臨時特例債の増。
 - ②町税減収による地方交付税の増など。
 - ③町民税を中心とする地方税の減収が続いている。
 - ④翌年度（平成23年度）に繰り越す額は、2億3千8百万円。

・ 監査意見（結論）

- ①財政の健全化にさらなる努力を行う必要がある。
- ②職員との意思疎通を図り、きめこまやかな行政サービスを。
- ③学校の耐震化、統廃合などの教育環境を取り巻く問題では、信頼される行政運営が求められている。きめこまやかな行政サービスの提供を。
- ④地域産業の活性化については、最も危惧するところである。今一度、原点に立ち返り、柔軟な対応が必要である。

平成22年度 伯耆町の各会計への伯耆町議会 （決算審査特別委員会）の審査意見

23. 9. 22 決算審査特別委員会委員長→議長へ提出

・ 審査意見

1. 町民税等の徴収業務については、努力の跡がうかがえる。滞納額を抑えるべく、さらなる収税・滞納徴収に粘り強く努力されたい。
2. 黒ぼくりゾート大山高原協議会については、事業目的の達成が非常に困難な状況である。平成23年度の事業成果をみて、今後、方向性を検討されたい。
3. 有線テレビ放送用伝送路の中海テレビへの貸付料と、町の負担している保守料とのバランスを、今後検討されたい。
4. ゴミステーション化の未実施地区が減少してきているのは評価するが、全集落がステーション化されるまでさらに推進されたい。
5. 各下水道事業特別会計の財源確保のためにも接続の取り組みを強化されたい。
6. 農業振興事業について、国・県等の補助事業を関係者に周知されたい。
7. 新型インフルエンザ対策事業等、各接種助成事業など、町単独のかさ上げによる健康対策を高く評価する。
 さらに住民の健康保持のために受診率並びに接種率の向上に引き続き取り組みをされたい。
8. 放課後児童クラブは、対象を拡大し、個別の対応も行うなど子育て環境の整備に力を入れている。運営においては、勤務条件の特殊性を鑑み、指導員の確保が容易となるように措置されたい。
9. 学校給食センターの栽培履歴の提示を実行されたい。
10. 町営住宅及び新築住宅資金等貸付事業特別会計の所管の変更を検討されたい。（現所管：教育委員会）
11. 岸本図書館の蔵書の充実を図られたい。
12. 公民館長と図書館長は、それぞれ専任化されたい。
13. 写真美術館については、集客の増など日々の努力を評価する。引き続き運営に努力されたい。